# 空　手　道　競　技

（令和６年度第３４回富山県高等学校新人大会　兼　北信越新人大会、全国選抜大会予選会）

富山県高等学校体育連盟
空　手　道　競　技
専門部長　濱 元　克 吉

１．主　　催　　富山県空手道連盟　富山県高等学校体育連盟

２．共　　催　　富山県教育委員会　富山県体育協会

３．後　　援　　北日本新聞社

４．主　　管　　富山県高等学校体育連盟 空手道専門部

５．期　　日　　令和６年１０月１９日（土）　午前９時００分より

６．会　　場　　上市町丸山総合公園総合体育館
（富山県中新川郡上市町堤谷11-5　　Tel　076-472-5300）

７．競技種目　　男子団体組手（５人制・３人制）、男子団体形、男子個人組手、男子個人形
女子団体組手（５人制・３人制）、女子団体形、女子個人組手、女子個人形　（計10種目）

８．競技規定　　(財)全日本空手道連盟制定の競技規定・審判規定に準じて行い、運用については
全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定並びに申し合わせ事項による。

９．競技方法

（１）組手競技はトーナメント制、形競技はラウンド制で行うものとする。なお、形競技においては得点制を採用する。

（２）個人組手競技においては、階級制を導入する。エントリー後の階級変更は認めない。

（男子階級）　－５５ｋｇ　－６１ｋｇ　－６８ｋｇ　－７６ｋｇ　＋７６ｋｇ　全５階級

（女子階級）　－４８ｋｇ　－５３ｋｇ　－５９ｋｇ　－６６ｋｇ　＋６６ｋｇ　全５階級

（３）組手競技における計量について

ア．計量時間は、８：２０～８：５０（コート設営終了から開会式１０分前の予定、詳細は放送で連絡するものとする）及び、昼休憩（競技進行を見て、時間は当日連絡する）の時間とする。

イ．計量の概要については「18．連絡事項（６）」についての説明を参照するものとする。

（４）団体組手・個人組手競技において３位決定戦は行わないものとする。

（５）団体組手競技について、エントリーは５人制か３人制いずれかのエントリーとする。エントリー後の変更は認めない。各制度で１チームのエントリーしかない場合、認定１位として試合は行わないものとする。

（６）個人競技において登録された選手の交替は認めない。

（７）形競技の競技方法及び演じる形については以下の通りとする。

ａ）個人形競技

| | ①第１ラウンド　指定形 | ②第２ラウンド　得意形① | ③メダルマッチ　得意形② |
|---|---|---|---|
| １３～<br>２４名 | プールＡ・プールＢの２プール<br>上位４名が次ラウンド進出 | Ａ・Ｂ／Ｃ・Ｄの８名演武<br>各上位３名が次ラウンド進出 | ②の各２位・３位で３位決定戦<br>②の１位同士で決勝戦 |
| ９～１２名 | プールＡ・Ｂの２プール<br>上位３名が次ラウンド進出 | Ａ・Ｂの上位３名ずつ演武<br>上位２名が次ラウンド進出 | ②の各２位で３位決定戦<br>②の１位同士で決勝戦 |

（※）エントリー数が８名以下の場合、１プールで①～③を行う。③までの勝ち上がり数はエントリー数によって決定する。

ｂ）団体形競技

〇エントリー数によって、代表者会議の際にラウンド等の決定を行う。

10．参加資格　　全国高等学校体育連盟空手道専門部に加盟している高等学校在学者とする。
但し、同一学年での出場は一回限りとする。

11．参加制限

（１）団体戦及び個人戦については、各学校から参加申し込みのあったチームまたは個人であること。

（２）団体組手競技は、男女とも５人制は正選手５名・補欠３名とし、３人制は正選手３名・補欠１名とする。
団体形競技は、男女とも３名とする〔補欠３名〕。
また、個人戦については、参加制限はしない。

（３）外国人留学生の参加については、（団体）正選手の過半数を越えない範囲で出場を認める。

12．参加申込

（１）申込書類　所属校の校長・監督（引率責任者の教諭）の印のないものは受理しない。

（２）申込方法　参加校は所定の申込書に入力し、入力データをメールで、印刷押印したもの１部を郵便で下記申込場所に送付すること。

（３）申込場所　〒933-8508　富山県高岡市本郷２－１－１
高岡第一高等学校　富山県高等学校体育連盟空手道専門部専門委員長
中谷　剛之　t-nakatani@takaoka1-h.ed.jp
ＴＥＬ　0766-22-6336（委員長勤務校）　090-7080-6191（委員長携帯）
ＦＡＸ　0766-26-3644

（４）申込期日　令和６年１０月２日（水）１２時必着のこと。

（５）申込等に変更のある場合は、メールで申込場所に連絡すること。

13．参加料　団体１種目　３，０００円　　個人１種目　６００円　（顧問会議で徴収する。）
〔個人組手、個人形の両方に出場する場合は１人１，２００円〕

14. 表　　彰

（1）団　体

ア．団体組手の優勝校（５人制・３人制とも）に優勝盾を授与する。

イ．優勝盾は持ち回りとする。

ウ．団体組手の前年度優勝校にはレプリカを授与する。

エ．各種目の第１位から第３位までに表彰状を授与する。

（2）個　人　各種目の第１位から第３位までに表彰状を授与する。

15. 資　　格

（1）北信越新人大会

ア．男子・女子団体組手５人制及び形競技は、上位４校が出場。

イ．男子・女子団体組手３人制は、１校のみ出場。

ウ．男子・女子個人形は、各上位４名までが出場。

エ．男子・女子個人組手の出場枠は下の表による。

【男子】

| 階級 | －５５ｋｇ | －６１ｋｇ | －６８ｋｇ | －７６ｋｇ | ＋７６ｋｇ | フリー枠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場枠 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

【女子】

| 階級 | －４８ｋｇ | －５３ｋｇ | －５９ｋｇ | －６６ｋｇ | ＋６６ｋｇ | フリー枠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場枠 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

※各階級の最大出場数は２である。

【参加選手のいない階級があった場合】

・その階級の出場枠を最も出場選手の多い階級へ振り分ける。各階級の最大枠は２とする。

【フリー枠の取り扱い】

ａ）各階級の２位の選手によるトーナメントを実施し、優勝した選手が出場権を獲得する。

ｂ）参加選手がいない階級があったことにより、振り分けられた階級についてはａ）のトーナメントに参加できないことを原則とする（各階級の最大出場数が２であるため）。

（2）全国選抜大会

ア．５人制団体組手と団体形については、北信越大会の成績により男子５校、女子４校が出場できる。

イ．３人制団体組手については、北信越大会の成績により、男女とも１校が出場できる。

ウ．個人形競技については、北信越大会の成績により男子５名、女子４名が出場できる。

エ．個人組手競技については、下の表のように北信越大会の成績から出場ができる。

【男子】

| 階級 | －５５ｋｇ | －６１ｋｇ | －６８ｋｇ | －７６ｋｇ | ＋７６ｋｇ | フリー枠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場枠 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

【女子】

| 階級 | －４８ｋｇ | －５３ｋｇ | －５９ｋｇ | －６６ｋｇ | ＋６６ｋｇ | フリー枠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出場枠 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

オ．フリー枠の取り扱いは、各階級２位によるトーナメント戦により決定する。

16. 代表者会議

（1）日　時　　令和５年１０月９日（水）　１５時３０分より

（2）会　場　　富山県立上市高等学校　剱嶺会館

（3）内　容　　大会運営及び組み合わせ抽選会

（4）その他　　抽選会には担当教諭は必ず出席のこと。抽選および試合当日の業務分担も行う。

書類作成、抽選結果の問い合わせはすべてメールで行うこと。電話・ファックスの問い合わせには応じない。

メールアドレス　t-nakatani@takaokal-h.ed.jp　（委員長　中谷）

17. 大会シードについて

（1）個人形競技におけるシードについて

【プールＡ・プールＢがある場合】

ア．県総体での第１位の選手と第２位の選手はプールを分け、そのプールの最終演武者として配置する。

イ．県総体での第３位の選手は第２位の選手のプールの最終演武者の前に配置し、第４位の選手は第１位の選手のプールの最終演武者の前に配置する。

【プールが１つの場合】

第１位を最終演武者とし、２位以下を４位までその前に配置していく。

（2）個人組手競技におけるシードについて

ア．県総体におけるベスト４を割り当てる。ただし、ベスト４が３年生であった場合は、ベスト８までで優勝者に負けたものから高シードとして、４名を割り当てる。

イ．３名エントリーの階級において、シード選手がいる場合は１名のみシードとする。

ウ．４名～８名エントリーの階級において、シード選手がいる場合は２名までシードとする。

エ．９名以上エントリーの階級において、シード選手がいる場合は４名までシードとする。

（3）団体戦のシードについては、出場学校数が３以上の場合は、優勝校を第１シードとする。

18. 連絡事項

（1）参加者に対する競技種目プログラムは、各校最大２部配布する。

（2）選手の服装と頭髪等について

※（公財）全国高等学校体育連盟空手道専門部大会申し合わせ事項に準ずる。

〔A〕空手道衣

1）空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。空手道衣上下には高体連指定ラベル（黒色）が貼っていること。また、各競技では赤青帯を着用する。（帯は個人または各学校で用意すること）。赤青帯には全空連検定ラベルと高体連指定ラベル（灰色）の両方を貼っていること。※道衣、帯ともに高体連指定ラベルのないものは使用不可とする。

2）空手道衣の左胸に入れる校名は次の基準による。

①一文字の大きさは5cm×5cm～7cm×7cmとし、字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。

②文字の色は黒又は紺又はスクールカラーとする。但し、色を合わせて使うことはできない。

③個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓またはフルネームであることが望ましい。

3）空手道衣の左袖上腕部に入れる都道府県名は、次の基準による。

①一文字の大きさは5cm×5cm～7cm×7cmとする。「都・府・県」の文字は入れなくてよい。

②字体・文字の色は、２）の条件に準ずる。

4）ズボンの空きは、ズボン全長にわたって、ズボンと脚との間（シンガードをつけずに、ズボンを片側に寄せた状態）で8cm～20cmでなければならない。（「気をつけ」の状態で判断する）

〔B〕選手の頭髪等

1）男子はスポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エリアシ」が見えるように整髪する。

2）パーマ、リーゼント、ソリ、ヒゲ、染色、脱色を禁止する。

3）女子は、ヘアピン等の危険物の使用及びリボン・鉢巻の使用を禁止する。空手道衣の下は白無地のＴシャツとする。(但し、ワンポイント校名もしくはワンポイントのロゴ入りは認める。)

（3）組手競技では男子５点・女子４点の安全具を必ず着用すること。

① ニューメンホーⅦ（全空連指定のもの）
② 拳サポーター　赤・青（全空連指定のもの）
③ ボディープロテクター（高体連検定品及び全ミズノ製全空連指定のもの）
④ セーフティーカップ（男子のみ空手道衣の下に着用すること）
⑤ シンガード・インステップガード（高体連検定品のもの）

※違反者の参加は反則負けとなる。（１分間ルール適用）

※マウスピースを使用してもよい（任意）。但し、色は白か透明なものとする。

※団体戦においては出場選手全員が正規のものを着用する。メンバー間での貸し借りは禁止する。但し、競技開始後の破損の場合は貸し借りを認める。

（4）組手・形競技とも、メガネ・コンタクトレンズ(ハード)の使用を禁止する。コンタクトレンズ（ソフト）の使用は、個人の責任において認める。

（5）負傷及び再発予防のための包帯・サポーター・テーピングの使用を許可する。但し、次の条件を満たすものであること。

①攻撃及び防御強化のために使用してはならない。また、相手に危害を及ぼすようなものを中に入れてはならない。さらに装着不備により、競技をしばしば中断させないこと。

②テープの色は、白またはベージュの２色のみとする。また、サポーターの色も白またはベージュの２色のみとするが、膝についてはこの限りではない。

③テープとサポーターの同一箇所への兼用は禁止する。

※上記に違反した者は当該競技種目のみ反則負けとする。

（6）計量について

ア．指定された時間内ならば何回でもチャレンジできる。その間に１度でもクリアすれば出場可となる。

イ．但し、その時間内に計量を受けない、あるいは予め届け出た階級区分に適していない場合は失格となり、個人組手競技の出場権を失う。

ウ．男女とも上衣Ｔシャツ、下衣はスパッツ（ハーフパンツ可）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。計測値は０．５ｋｇを引いた状態で計量する。

エ．いったん届け出た階級の変更は認めない。また、出場した階級において北信越大会出場権を獲得した選手が、北信越大会申し込みの際に階級を変更することはできない。

19. 健康管理

（1）競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

（2）故障者については、監督の責任で出場を取りやめること。